



おだ学園保育園通信



暑かった日々もようやく落ち着いてきました。

0, 1, 2歳児は散歩に、3, 4, 5歳児は戸外活動へと「センス・オブ・ワンダー」を満喫していきます。

「センス・オブ・ワンダー」とは「自然の神秘さや不思議さに目をみはる感性」という意味をもち環境保護運動の世界的な先駆けであるレイチェル・カーソンの書名としても広く知られています。

私達大人が幼年時代に外で遊んだ記憶を振り返ると、水の冷たさ、太陽の日差し、木々の匂い、春夏秋冬の変化の中で色とりどりに移り行く風景、こうした自然の恵みに、わけもなく込み上げてくるワクワクした感じが思い起こされたり、時には幼く、小さな自分をはるかに超える自然の大きな力に触れ、震えるくらいの恐れを感じたことがあるのではないのでしょうか。そのように自然をあるがままに感じ取る感性を培うこの時期の子ども達に沢山経験して行って欲しいと願います。

因みに大人になると、私たちは、よりよい生活をしようとする気持ちから、日々知識や経験を積み重ねていきます。そのため、「自然に触れて感動すること」はあるものの、子ども時代に体験される、理由のないワクワクした感じというよりも知識や経験を通じて、知的に自然を捉えていることに気が付くかもしれません。裏返してみると、直観的に自然につながり、あけっぴろげに感動できる力は、大人になると薄れてしまうようです。そのことを十分理解し、おだ学園保育園の子ども達も年齢ごとに子どもに特有の力を蓄えていきます。



【睡眠チェックについて】

前月号にて睡眠チェック（睡眠時にルクミー体動センサーを導入）についてお伝えしました。今回看護師より詳細に SIDS 特集号として配信しておりますのでご確認ください。よろしく願いいたします。

